

## Vivienne's diary 2014 年 11 月

"WHAT'S GOOD FOR THE PLANET IS GOOD FOR THE ECONOMY"  
"WHAT'S BAD FOR THE PLANET IS BAD FOR THE ECONOMY"

*What's good for the Planet is good for Chelsea. ♡*

地球に良い物は経済にもよく、地球に悪い物は経済にも悪い。  
地球に良いことは、チェルシーにとっても良いことよ♡

自由戦士、チェルシー・マニングへ

カンザス州のフォートレブンワースから届いたあなたからの手紙を受け取って、私はとても嬉しかったわ。これで私たちは会話ができると証明できたのですもの。世界中にいる活動家の誰もがあなたの解放のために戦うことが大事だと認識しているのよ。それは権力者の力を弱くする一歩となるわ。また、全ては繋がっているの。—私たちはこの世界を守らなければならないのよ！緊急事態だけれども、容易に解決できるわ。

私たちは、問題は資本主義、そしてこの経済のシステムが、ほんのわずかな人達によって回されていることだと確認しているの。資本主義からグリーン経済に変えるのは簡単なことなのよ。例えば、私たちの協力で、ヨーロッパは3年以内に再生可能エネルギーに変えることができる。だけどグリーン経済はグリーンエネルギーというだけではなく、破滅の終わりということなの。—資本主義は戦争経済なのよ。

愛を込めて ヴィヴィアンより

**11/2 (日)** : グラーツの芸術学校で一緒だったアレックスとは、アンドレアスが14歳の頃からの親友です。アレックスは私たちと一緒に働いてくれています。彼はスカーフやネクタイのデザインをします。(彼は巧みな作業で、私やアンドレアスが作るアートワークやプリントを活かしてくれます。) 彼は招待状やレイアウトの手助けもしてくれます。

アレックスは自分の仕事が好きで、私たちは彼を完全に信頼しています。色使いや生地使いがとても上手なのです。以前は美術館のアンティークのカーペットを修繕していたから、カーペットや壁紙のことにも詳しいのです。もし慈善事業で何かお願いされたら、私たちはアレックスにそれを投げかけます。今回彼はボビー・ベアーのコスチュームをオーガナイズしてくれました。



クライメイト・レヴォリューションに扮したボビー。性的虐待を受けた子供達やその結果エイズ感染した子供たちを支援するためのオークションに使われました。

アレックスは人身売買に反対するキャンペーンのオークション用のカーペットもオーガナイズ、デザインしてくれました。私は結局パン・ギムンに会うことに決めました。アレックスが私を迎えに来てくれ、一緒にウィーンに行きます。



夜、アリ・ラヒミのカーペットの商店でイベントが開催されます。ラヒミ夫妻は慈善事業にとっても力を入れています。彼がライフボールのスポンサーを助けたのです。そのライフボールで私たちは会ったのですが。今のところ、私のスピーチは資本主義の終焉で始まり、それを人身売買に繋げる予定です。事実から資本主義は戦争経済で、それが人をも搾取する（消耗品扱いの兵士や低賃金労働者）と言う風に持って行きます。人は機械化されたシステムにおいて不必要なものなのです。私たちに素晴らしい世界を与えてくれる可能性のあるものは鎮圧され、壊滅されています。

私はパン・ギムンと次の間で話すために引退しないと決めました。だって彼は私のリーフレット、**資本主義の終焉**を読んでくれたのですもの。彼は私

のスピーチを気に入ってくれました。私は国連の分析や警告では、決して緊急性が十分には思えないと言いました。「とにかく私を信じてよ、緊急事態なのよ！事実を強調するために、私たちは全力を尽くさないよ。」私は2つの言葉、緊急と資本主義を口にするために、ありとあらゆる機会に彼に質問しました。資本主義が気候変動と金融危機の原因と影響になっているのです。



**11/3 (月)** : まだウィーンにいます。アートギャラリーは閉まっていますが、そこで働く人達がいたため、ヴェラスケスの展覧会に特別に入れてもらいました。私たちはディレクターのサビーヌと知り合いです。そのギャラリーで、以前ユルゲンとケイトと撮影をしましたし、ウィーンのショップのオープニングのため特別にファッションショーもしました。アンドレアスはオーストリア人ですし、ギャラリー側は私たちのことを誇らしく思ってくれています。それに私たちは、オーストリアで有名な新年のコンサートのためにコスチュームも作りました。ここは世界でも素晴らしいギャラリーのうちの一つで、私はフリーゲルを見ます、というより、見なければなりません。かつてないほど壮大で、完璧で、生き生きとしているのです。それからヴェラスケスを見ます。ナショナル・ギャラリーが作品を貸す前に、ヴェラスケスの作品は全て（現代の人に描かれた絵やワークショップ以外）見たことがあります。ロークビーのヴィーナス。私はそれら作品の中で夢見心地でした。彼の作品を見るといつも同じ気持ちになります。これは彼の作品だけです。絵の中にいる人達は生きていて、もう一度絵を見ると、絵の中にはも

う誰もいない気がするのです。私は、ギャラリーの下のスタジオでその日仕事をしていたオーストリア人の友人、エルケと話しました。実際のところ、彼女が私に会いに来てくれたのですが。彼女はトップクラスの美術修復師で、世界の名作を修復しています。彼女は私が意味するところを分かってくれ、こういうことが起きる方法をいくつか説明してくれました。そのうちの一つは、絵は部分的に焦点が合わないように描かれているからだということでした。

もし火災報知機がなるとしたら、どの絵を守りたいかしら。私はウィーンのギャラリーにある、3歳の時のマルガリータ・テレサを持って行くわね。ヴェラスケスが彼女を絵の中に落とし込んだようで、そこに、彼女が金のように良い状態でいて、出るのを我慢強く待っているようよ。



**11/4 (火)** : 私のご近所さん、クラパムのジュリアン・ホールと。彼は今住んでいる家を区が売り捌きたいがために、そこから追い出されそうなのです。ラッセル・ブランドは同じことに対して反対運動をしています。そうね、カメラクルーがそのことについて私に話しにきたわ。

人を殺すことなく、グリーン経済を築くのはとても大事なのです。唯一の方法は、再生可能エネルギーで 実際にやってみる ことなのよ。その間に、死に際にある 資本主義と言う、現状反対のシステムと戦わなければならないのです。緊縮財政は、隙間を埋める、もしくは穴をふさぐための短期の現金の

ことよ！未来に問題を蓄積しているのよ。最悪の問題は、これらの区の立ち退き問題に関して言えば、裕福な人達にその所有地を売り、住宅入居希望リストに加えることで、地域社会を壊滅していることです。何か良いことが、永遠になくなり、区が得るお金は、砂の中に消えていくのです。これをしない政党は、緑の党だけです。他の政党はどれも似たもので、私は、それらをブロックと呼んでいます。グリーン経済を築いた時に、地域社会は必要不可欠となります。ジュリアンは実際にグリーンな議員として選挙に出ました。次回は当選するでしょう。



政府はあと 200 もの高級高層アパートやオフィスを投資用に建設予定です。



火曜日の午後：また別の映画。今度はクレイグ・マックディーンが、私の昔からの大親友ジーン・クレールのドキュメンタリーを撮りにここに来ています。ジーンは今日本に住んでいて、韓国ヴォーグとヴォーグ日本のファッションエディターをしています。とっても興味深いファッションの革新者です。彼がいなかったら、本当にたくさんのことが起きなかったでしょうね。もちろん彼は私の本にも出てきて、クレイグの映画にも出るのよ。そしてもちろん彼についての映画が必要ね。クレイグありがとう。



ジーン・クレール。かつてワールズ・エンドで働いていました。

**11/5 (水)**：私みたいな年輩女性にとって、ボンファイアーナイトはとっても大事な夜です。毎年必ずどこかのボンファイアーナイトに行っていて、その中でも一番は、田舎に住んでいた少女時代の頃ね。自分達で、家族のお祭り、儀式的な、特別な料理もあるボンファイアーナイトをするのよ。どんな理由であれ、今年はボンファイアーナイトに行かないつもりです。だけどトラファルガー広場で、ミリオンマスクマーチに参加します。ベルリンでファッションを教えていた頃の友人、ユルゲン・フリスクに会います。彼は私のアシスタントでした。

彼は、今はハンブルグで教えていて、10人の生徒達と一緒にここに来ています。アリス・デラルも来ます。（アリスが革命の手助けをしてくれるといいのだけど）



ユルゲンと彼の奥さんのウルリケ。未来に向かって運転中。今は3人の息子がいます。

そのマーチが何についてのマーチなのか分からないのが問題でした。それはとにかく私たちは何にでも反対しているのだという感じで、焦点がないのです。私自身が退屈してきて、一緒にマーチに参加するよう誘った人達に対して悪い気がしました。そのマーチがその人達にとって初めてのマーチだったらどう思う？もう二度と他のマーチに行きたがらないわよ。スピーチだってなかったのですから。最終的にはパブに行き、その時間を楽しみました。だけど私たちがマーチからいなくなった間に、ラッセル・ブランドが25分ほどスピーチをしたことが分かりました。そうね、誰もラッセルが話すだなんて教えてくれなかったわ。

**11/6 (木) :** ドゥードゥルバーへ。ドイツから来ている学生達の歓迎と資本主義の終焉について話すために。スタジオのご近所さんの、ロイヤル・カレッジの生徒達にも声をかけました。アリスが来ました。

アイディアは緑の党と共に働くことです。主な理由は、私たちは行動する時に焦点が必要であり、緑の党には全国民共通の構造があるからです。若者達は選挙に行きません。もし彼らが緑の党に入れてくれたら、英国だけでなく世界中に激震が走るでしょうね。なぜならば英国は他のどの国よりも資本家が事業を起こすことに関しては名声があるからです。

以前私が述べたように、私の会社にいる若者達はクライメイト・レヴォリューションに懸命になっており、ミーティングにも来るし、グリーン経済のために戦ってくれています。素晴らしかったのよ！70人の学生のうち、50

人が一緒にやりたいと言ってくれ、メールアドレスをくれたのよ。それなら、続けて他の学校にも行くわね。1週間に1校。すぐにでも始めるわ。私に連絡してね。



**11/7 (金)** : ロイヤル・オペラ・ハウスに。監督のアレックス・ビードに招待されました。3つのバレエです。第1幕と3幕、振り付けとコスチュー

ムは改善の余地あり。2幕のバレエをアンドレアスは「今まで見た中で一番だ」と言いました。私たちは極上な気持ちでいました。

リアム・スカーレット。このバレエの振付師はスターね。斬新で新しい。バレエ。不安の時代。4人のダンサーはどなたも平等に素晴らしく、女の子も素晴らしかったし、男性のダンサーの一人、スティーヴン・マックレーは素晴らしかったわ。以前も彼のダンスを見たことがあるのよ。彼には疲れ知らずのエネルギーがあり、早くて点滅しているようで、まるでゴムに掴まっているみたいなの。40年代、バーにやって来た彼は船乗りでした。セットは小さく、残りのステージはブロックされていました。バーの後ろの壁は棚になっていて、色んな色のお酒のボトルが置かれ、ライトに照らされ、部屋自体も照らしています。彼は一度に3人のお客さんと友達になり、全員が関係を持つようになりました。



バーから追い出された彼らは、女の子のアパートへと行きました。そしてカーテンの前に、そのうちの二人の、薄い茶色のスーツに中折れ帽を被った営業マンとレザージャケットを着た若い男の子が別れを告げました。その少年は落ち込みました。彼は船乗りには好意があったのですが、うまくいかなかったのです。そしてその営業マンはゲイではありませんが、彼の唇に愛情の印としてキスをし、名刺をあげました。彼が去った時、少年はわざとその名刺を落としました。

詳細をこうやって教えているのは、微妙な関係や、登場人物が人の心を惹き付け、ダンスを通してこれを表現する、ということを皆さんに伝えるためです。

エンディングはとてもハッピーでした。大きなステージがフルに開けられ、その少年は彼を前に全世界を手にし、まるで飛んでいるかのようにステージ状を走り回りました。

**11/10 (月)** : トレイシー・ウォースターがホストの晚餐会に。彼女のキャンペーン、[ピッグ・ブレイジ・キャンペーン](#)に寄付を募るためです。私たちの[ファッションショー](#)でもそれを支援したのですが覚えていますか。素敵なレストランです。ベラミーズはヴェジタリアンのレストランではありませんが、大体いつも何かを見つけることができます。だけど私は魚にしました。私はたまに社交の場では魚を食べます。私の友人達も何人かそこにいて、トレイシーは自身でオークションを開催しました。彼女は背が高く、とても痩せています。Tシャツにサロンだけを着ていました。—本当に何もないの。ちょっと長い丈の布だけ。シックね！

**11/11 (火)** : 献身的な二人のアメリカ人女性と一緒に行動しました。パム・ラリーは「[プロップ 37](#)」と言う、アメリカで遺伝子組み換え食品にレッテルを貼るキャンペーンを始めました。そしてダイアナ・リーヴスは、[GFMO・フリー・アメリカンズ](#)の設立者です。私たちは、5700万人ものアメリカ人（ダリル・ハンナ、スーザン・サランドン、ロバート・ケネディ・ジュニアも含め）を代表しているグループや組織が署名した嘆願書を首相官邸に持って行きました。そこで馬鹿みたいに聞こえる、またはいらつかせるようなことを私は言ってしまったと気になっているのですが、プレスが大衆の関心を[Big Ag（農業の資本主義化）](#)に持って行ってくれ、結局は正しい宣伝活動ができました。

**11/16 (日)** : アンドレアスと仕事です。キャンペーン用の撮影用の服選びを手伝っています。選んだ服は明日ニュルンベルクに送られます。ユルゲンが教えている芸術学校で撮影をするのです。

**11/19 (水)** : パーズと彼氏のマーカスにニュルンベルクに行く途中空港で会いました。パーズは私たちのモデルで、マーカスも多分関わってくるでしょう。もしうまくいったら、生徒達も参加することができます。今の段階ではその写真をお見せすることはできませんが、その代わりステラ・シュナーベルと撮った最近の写真を見せますね。私たちは今とても強い女性を撮影しているのです。このコートが好きなので、この写真を選びました。クラシクなウエストウッドです。ハリス・ツイードで。



パーズはスペイン人の女優で、カリフォルニアに住んでいます。名前の意味は平和ですが、本名は長い糸みたいにたくさんの名前があるのです。つまり彼女の一族が裕福であることを意味しています。彼女の家系はスペイン王室と

繋がっているのではないかと尋ねたところ、生い立ちから話し始めてくれました。みなさんにこの話を伝えるつもりはありません。こんな話を今まで聞いたこともありませんでした。全部言えないのよ。だから何も言うことはありません。だけど、彼女に人生で起きた重大な出来事を、10個リストをあげるよう聞いてみるつもりです。箇条書きで書いてもらったら見せるわね。

私自身、彼女みたいな人に会ったことはありません。彼女はずっと持ち得る力を使います。それで他の人も自分たちの持ち得る力を使うということが起きるのです。だから私たちみんなが力をフルに合わせて使うことになります。アンドレアスは本当にリラックスして、楽しんでいました。

全てがよくアレンジされていて、夕食はホテルで。翌朝早くに始まり、郊外の森の中にある様々なバウハウスタイプの建物の学校で。私は生徒達に話しをし、リーフレット（資本主義の終焉）をあげました。生徒達は夕食を作り、とても上手なロックバンドでパフォーマンスをし、撮影は朝方まで続きます。

全てを通して、この素晴らしい女性がドラマを演じてくれました。一度、彼女おかしくなったのではないかしらと思いましたが、すぐにそうだ、彼女は演技をしているのだと気付きました。それも一度だけではありません。誰かが何か意味のある意見を言った時、彼女はすぐに私たち全員を彼女の演技の中にまた引き込んでくれたのです。着替えの間、彼女は完全にヌードでした。彼女はずっと冗談を言って、例えばどんどん可笑しくなるように、大きな声で美しく「ユルゲン、準備はできているわよ」とユルゲンを呼ぶのです。バンドが演奏している間、彼女はずっとダンスをしていました。ダンスフロアで、色んな人が彼女にドレスを着せたり脱がせたりします。生徒達、誰もがエネルギーに満ちていました。写真は特別に素晴らしい出来となっています。パーズとマーカスはとても誠実で真面目な人柄です。二人はネイティヴアメリカンのシャーマンとのエネルギーワークの最中に出会ったそうです。二人はエネルギーワークを続けるために夜中にカリフォルニアへ戻りました。マーカスは個人的に経験豊富で、エネルギーワークとニコラ・テスラにより発明された革新的なエネルギーの供給を結びつけます。テスラの偉業は1900年頃にビジネス上の利益の都合で故意に妨害されました。なぜなら彼が発明した方法によるエネルギーの供給は持続的かつお金がかからないからです。明らかに、私たちはどうやったらこれがすぐにでも起こり得るのかということに興味があり、私はマーカスにこれについて教えてくれるよう頼みました。クライメイト・レヴォリューションのために一つずつやっていきましょう。パーズは貧しいメキシコの子供達が、病院で適正な治療を受けられるようにするための、自身のチャリティー団体を持っています。

**11/26 (水) :** グリーンピースのジョン・ソーヴェンが共同出資のアイディアを話しに来ました。

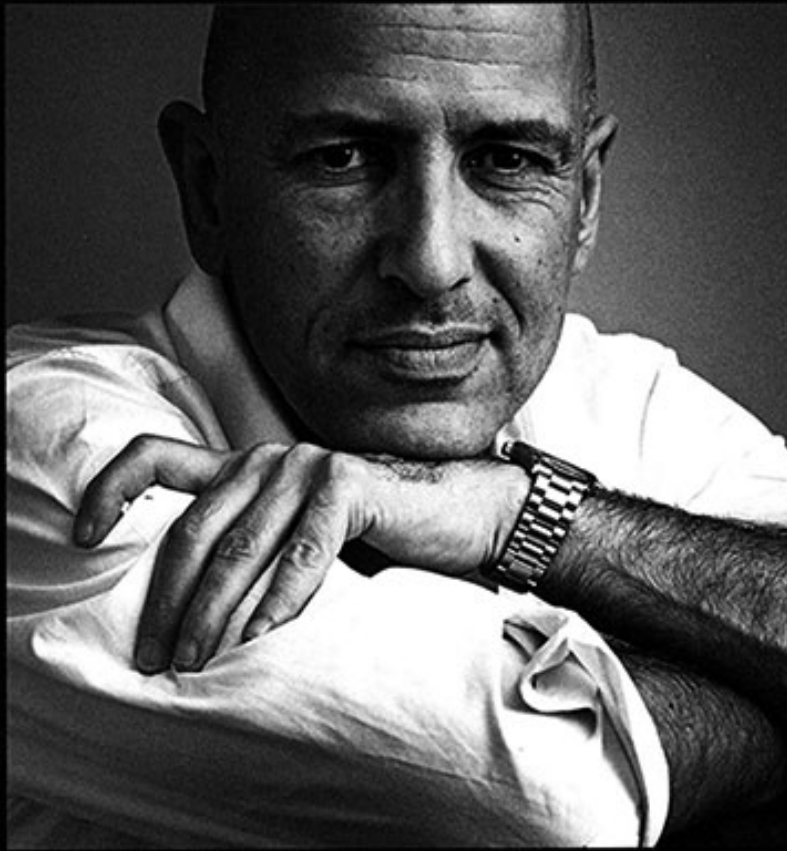
**11/27 (木) :** ジェリー (ホール) の感謝祭のディナーへ行きました。私はガブリエルの友人のうち10人くらいと、ちょっと話し過ぎましたね。ガブ

リエルはジェリーの一番下の男の子です。彼らにリーフレットをあげたところ、みんな丁重に私に感謝してくれました。理由は、彼らは資本主義の終焉について、またそれが意味するところについて何も知らなかったからです。私はいつもリーフレットを持ち歩いては配っています、（もう皆さん方はお気づきかもしれませんが）それから大人の皆さんには（皆さんはもう推測しているでしょうが）クライメイト・レヴォリューションについて話をしました。

マーシャ・ハントは、彼女の友人ジミー・ヘンドリックスのことを書いた本について話してくれました。ジミーはイギリスで成功しなければならなかったのです。アメリカではそれは起き得なかったでしょう。そのグループの実話、「ザ・ジミー・ヘンドリックス・エクスペリエンス」は、ジミーと二人の白人の男の子が一緒になって音を作り出したものでした。その話は「修正され」ました。ジミーはアメリカのメディアによって売り出され、170冊のジミーに関する本は、全てジミー一色となっています、すなわち、黒人の男の子が一人で、人種が入り交じったグループではないということです。このことが、もしミッシェル・オバマが白人だったら、オバマは大統領にはなれなかっただろう（ここに負けはありません）と気付かせてくれますね。アンドレアスは大好きなジェリーと終始話をしていました。私も彼女が大好きです。それからジェリーのボー（恋人、ジェリーが彼を呼ぶように）のアーマンドの同僚達とも話をしていました。アーマンドはインペリアル・カレッジで教鞭をふるっており、そこで今、ジェリーはその知的なグループに入門することになったわけです。（そこの学生達と話をしたいわ。次の選挙に向けて、クライメイト・レヴォリューションを築き上げていくために、若者達と話をするのが私の計画なのよ。緑の党に投票して。）

私はアーマンドと少しだけ話をしました。彼は自著「ザ・ラグーン」をくれました。さて、この本は私を待っているわね。私の好きなアリストテレスの人生と思考に関することが詰まっているのよ。でも今、私は詳細へ進んでいく段階にいるのよね。動物を一つずつ取って観察し、解剖したアリストテレスの解説。本がどんな感じだったかまたみなさんにお伝えしなければなりませんね。アーマンドは進歩的な生物学者です。





Armand Marie Leroi is Professor of Evolutionary Developmental Biology at Imperial College London. He is also a broadcaster and the author of *Mutants: On the Form, Variety and Errors of the Human Body* (2003), which has been translated into nine languages and won the Guardian First Book Award. He lives in London.

[www.armandmarieleroi.com](http://www.armandmarieleroi.com)